

株式会社 鈴木商店 鈴木社長にインタビュー

Q 地方である美波町にサテライトオフィス（以下SO）を出した理由は？

A 趣味であるサーフィンや釣りをしながら仕事ができたらいいなと漠然と考えていたところ、大阪のビジネスイベントがきっかけでSOを知りました。美波町は海などの自然が近く、オフィスを構えるための支援もあり開設に至りました。

Q 美雲屋は会社にとってどんな場所？

A 会社として大事にしている価値観のシンボルです。鈴木商店は、人生を輝かせるには、仕事だけでなくプライベートも合わせて充実させることを大事にしています。美雲屋は当社の価値観を体現できる場所です。

Q 美波町に進出して良かったと思うことは？

A 大阪からのアクセスが良く、自然環境が良いことは勿論ですが、美波町の人柄につきます。みなさん本当に温かく、一方で恵比須浜は漁師町でもあるので豪快な人が多いと感じます。都会では繋がれない人々と関わることで、多様な働き方や価値観に触れられることが貴重です。

美波町が、令和2年度総務大臣表彰を受賞しました

令和3年1月28日、ふるさとをより良くしようという熱い思いを持って頑張る団体や個人に贈られる賞「ふるさとづくり大賞(地方自治体表彰)」を美波町が受賞しました。この制度は昭和58年度より実施されており、総務大臣によって受賞者が決定されています。

美波町はインターネット環境を活かしたサテライトオフィス誘致や古民家を改修したお店の開業支援など、町外からやってくる人たちの受け入れを積極的に行ってきました。過疎化が進む



株式会社鈴木商店

クラウドコンピューティング関連のシステム開発を行う会社。2013年9月美波町恵比須浜にサテライトオフィス（以下SO）美雲屋を開設。

Q 美波町に来る時に楽しんでいることは？

A 美雲屋で働いている社員の家族に会うことや、お酒を飲みながら地元の人と話をすることです。体験されている出来事が、都会の生活では考えられないことがばかりで面白いです。迎え入れてくださって第二のふるさとのように感じています。

Q 今後の展望や取り組みたいことは？

A コロナが収束したら美雲屋でバーベキューしたいです！美波町に行けていないので、地元の人にも会っていません。リモートワークで人に会わなくても仕事ができるようになり、人が集まる事自体にますます価値が出てくると感じています。美雲屋をそういう意義のある場所にしていきたいです。

美波町ですが、地域のお祭りやイベントなどの活動には、サテライトオフィスで働く社員をはじめ町外からのたくさんの方が参加し、日和佐ちょうさ保存会等の町内の団体や地元住民と一緒に賑わいを創出しています。過疎でありながら、にぎやかな事例が評価され受賞に至っています。

インターネット環境や古民家を改修する支援があるだけでなく、町や地元住民が外からやって来た人を受け入れ、共生していこうと取り組んだことが、今回の受賞に大きく寄与しています。町の過疎化を止めることは難しいかもしれませんが、今後も私たちらしくにぎやかな美波町を作り上げていきたいですね。